

「東アジア水産物貿易の構造変化と展望—グローバル化する流通—総括と論点（大会後記）」

〔概要〕

2006年5月開催された漁業経済学会第53回大会2日目のシンポジウムの司会を著者と小野征一郎氏が務めたため、例年司会者が担当する学会誌での総括を小野氏の勧めにより筆者が単著の形で行った。4名の報告者、4名のコメントーターの論旨を紹介したのち、3時間におよぶ総合討論の論旨を(1)圏は形成されているのか、(2)圏のイメージないし定義、(3)圏の牽引役、(4)ASEAN 諸国の今後と圏の持続性、(5)圏のもたらす影響に組みなおして総括している。